



産業廃棄物処理計画書

平成28年6月30日

都道府県知事
(市長)

殿

提出者

住所

氏名

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

日田市杵町1935-1
有中央牧場 本川一喜

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有限会社 中央牧場
事業場の所在地	日田市杵町大字杵里 1935-1
計画期間	平成28年4月1日 ~ 平成29年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	01 農業
②事業の規模	乳用種 (経産牛87頭、初産牛9頭、育成牛15頭)
③従業員数	3人 (パート2人)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	牛の糞尿: 風乾施設で泥磷処理後牛舎の敷料に利用 又は 堆肥舎に保管し飼料畑・水田で利用する。 飼物の処理: 化製場へ全量委託処理

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

収場主： 廃棄物処理に関する事務全般

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (27 年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	牛糞尿 動物の死体
	排出量	2/22 t 1.6 t
	(これまでに実施した取組) 液肥処理後 1/2を もじり排肥 とし 敷料利用、 1/2を 飼料畑、集落常農の水田で利用	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿 動物の死体
	排出量	2/22 t 1.6 t
	(今後実施する予定の取組) 一年中 製菌剤 を利用する	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（平成27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1,422 t	t
	(これまでに実施した取組) 堆肥化(発酵)処理		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	牛糞尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1,422 t	t
	(今後実施する予定の取組) 堆肥化処理		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	牛糞尿	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	700 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	牛糞尿	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	700 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 27 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の死体	
	全処理委託量	1.6 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の死体	
	全処理委託量	1.6 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
化製場への委託処理			
※事務処理欄			